

授業科目名	国際環境論	担当教員	西崎 伸子
必修の区分	選択		
単位数	2単位		
授業の方法	講義		
開講年次	3年第3クォーター		
講義内容	現代の環境問題はグローバルに展開し、一国の環境政策では解決困難な大きな社会問題となっている。本講義では、具体的な環境問題として、公害問題、ゴミ問題、野生動物保護問題、森林問題、環境災害などをとりあげ、グローバル環境問題を読み解くための基礎知識と、解決のための基本的な考え方・政策・制度について示す。また、各環境問題の解決に向けて、わたしたちがどのようにしていけばよいのかについて、受講生が考え、議論できるように講義する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国際的な環境問題について、基礎的な内容を理解し、自分の見解を持ち、記述して説明することができる ・講義の内容以外の「グローバル環境問題」に関心を持ち、講義の内容をふまえて自分の見解を持ち、記述して説明することができる 		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス：人類史と環境問題 2. ローカルからグローバルへⅠ：環境問題の系譜 3. ローカルからグローバルへⅡ：公害事件と人々の闘い 4. ローカルからグローバルへⅢ：公害事件は国際問題へ 5. 野生動物のグローバル商品化Ⅰ：くじらを食べる？鑑賞する？ 6. 野生動物のグローバル商品化Ⅱ：象牙・サイ角・ロバ 7. わたしたちの食と森林問題Ⅰ：「アブラ」と東南アジアの森林 8. わたしたちの食と土地問題Ⅱ：「大豆」と南米・アフリカの土地 9. エネルギー問題Ⅰ：原子力災害の教訓 10. エネルギー問題Ⅱ：再生エネルギー開発の今 11. ゴミ問題Ⅰ：ゴミって何？：一般ゴミと産業廃棄物 12. ゴミ問題Ⅱ：海洋汚染とプラスチックゴミ・まとめのテスト <p>*授業計画は変更の可能性がある。初回授業で説明する。</p>		
事前・事後学習	毎回の授業のテーマに関連する新聞記事や書籍などの情報を収集し、目を通しておくこと		
テキスト	教科書は使用せず、資料を配信（配布）する。		
参考文献	授業時に適宜紹介する		
成績評価の基準	授業の中ごろに小テストあるいはミニレポートを課す（最低1回）。また、授業の最終回に「まとめのテスト」をおこなう。評価は小テスト/ミニレポート（3割）、まとめのテスト（7割）とする。		
履修上の注意 履修要件	定員を超過した場合は抽選にする。		
実践的教育	該当しない。		

備考欄	
-----	--